



令和2年度 幌加内老人クラブ奉仕活動

幌加内老人クラブ（会長：小林四郎）がこのほど、町高齢者コミュニティセンターの裏手花壇を整備し、幌加内高等学校から提供のあったマリーゴールドやサルビアなどおよそ1,000株の色とりどりの花を植えました。

現在、会員数は61名。小林会長は、「今の時代、心のつながりを大切にしないといけない」と話し、会員に呼びかけ、6月25日に集まった会員34名で花植えを実施。その後、7月19日に会員28名で草取りを実施しました。



～ 花の種類 ～

マリーゴールド（黄色）、マリーゴールド（オレンジ）、サルビア（赤）、ペチュニア（白）、ペチュニア（赤）、インパチェンス（白）、インパチェンス（赤）



令和2年度 災害対策懇談会を実施

7月30日（木）、町民研修センター2階 大講堂において、令和2年度災害対策懇談会が実施され、各自治区長ほか町内会長など23名の出席がありました。

懇談会では、旭川気象台長より、「災害に逃げ遅れないためには」と題し、避難をすべき基準として、「防災スイッチ」を念頭に、避難するルール作り（スイッチ）を決めておくことで、生き残る確率を高めることができるなど講演がありました。また、滝川河川事務所から「最近の水防災に関する話題」、雨竜ダム調査事業所からは現在の進捗状況の説明がありました。



JAボランティア花菜 花壇に花を植えていただきました

JAボランティア花菜（会長：井上信子 会員：13名）が役場前の花壇に花を植えていただきました。

肥料をまき、天地を返し、土壌を耕す作業から、ペコニアやマリーゴールドなどの色とりどりの花の苗を、色や形・成長具合など、花の特徴をとらえながら花壇をデザインしていただきました。

役場正面にある2箇所の花壇がとても色鮮やかな花々に彩られていますので、近くを通行する際はぜひご覧ください。





きたしん活性化奨励賞 &第9回政和アートFes 2020

政和アートFes実行委員会（委員長：吉成祥子）が、北空知信用金庫が地域に根差した活動を応援する「きたしん『ふるさと振興基金』」のふるさと活性化部門において、ふるさと活性化奨励賞を受賞しました。表彰式で、廣上理事長は「今年も地域活性化の取り組みを続ける皆さまの活躍に期待します」と表彰状と助成金を手渡しました。

また今年も、平成19年に閉校した“政和小学校”を舞台に、今年で第9回目を迎えた政和アートFes2020が開催されました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、8月1日から16日までと、例年よりも期間や時間を縮小し開催されましたが、来場者数は延べ700人にのぼり、訪れたお客さんは、実際に購入できる作品に手を伸ばしたり、体育館へ通じる廊下に掲げられたメッセージボードに応援メッセージを記入するなど賑わいを見せました。



添牛内地区で旗の波運動を実施

7月16日（木）、観光シーズを迎えたこの時期に添牛内地区で旗の波運動が行われました。

霧立峠のある添牛内地区では、昨年の4月～7月に立て続けに3件の事故が相次ぎ、1名が死亡、2名が重体、4名が重症を負いました。

交通事故に“あわない”“おこさない”“おこさせない”を合言葉に、添牛内自治会の住民や関係者ら20名が通行車両に対し、スピードダウンやゆとりを持った運転、シートベルト着用と書かれた旗を振り、安全運転を啓発しました。

